



# 特集・ルクストラム (Luxtram)

## ルクセンブルク市

写真：小田部明人 文：藤村建一郎



# 人口10万人のルクセンブルク市の 新型トラム (2017年12月～)

[本文:P.4]



- ↑ 曲線を多用した、凝ったつくりのトラムと電停。「ルクストラム (Luxtram)」の愛称で市民に親しまれている。
- ↖ ルクセンブルク市郊外の緩やかな芝生軌道の坂道を登っていくルクストラム。
- ← 窓ごしに停留場を眺めれば、歩行者空間と路面電車が、一体的に設計されている様子がよく見える。



## 知られざる欧州の富裕国の 首都を走る最新型トラム

ルクセンブルク市は世界の富裕国(※)の二つとして知られるルクセンブルク大公国の首都。世界遺産の街であり、欧州司法裁判所など欧州連合の主要機関も存在する。欧州の中心部に位置する地の利と、英語、仏語、独語の欧州主要言語の通じる便利さから、現在は税制優遇とともに欧州本社機能の利便性を訴えて広く企業を集めている。世界屈指の金融市場を有する街として、また、欧州の情報通信センターの中核としても知られる。

ルクストラムは人口約10万人のルクセンブルク市の郊外を走る。市内は木々の緑が目立ち高い建物がない。今年の夏からは、交通渋滞の緩和と市民の交通の自由の理念を実現するために、料金無料化に取り組むという。日本とは状況、環境が異なるが、欧州富裕都市の挑戦に注目したい。

※二人当たり名目GDPによる。

出典：IMF World Economic Outlook Database, October 2018



▲トラム路線は駅前には来ていないものの、バスターミナルでは、充電式の電気バスが停泊しながら充電中。池袋駅前も、数年後にはこのような光景が見られるだろうか。



▲トラム停留場と駐車場の出入り口が並んでレイアウトされている。トラムと歩行者、自動車がお互いになるべく邪魔にならない、「ワザあり!」の工夫。



▲ここでは、自転車専用の踏切が置かれている。しゃ断棒はなく、自転車マークの信号が備えられ、自転車が渡りやすいように、少し斜めに線路を横断している。配慮が行き届いていることが素晴らしい。



▲坂の多いルクセンブルクでも、乗り降りのしやすさを追求すれば、トラムは床が可能な限り低いものを選ばれるようだ。車いすやベビーカーでも使いやすいトラムの良さが、最大限に引き出されている。

# 真っ赤な電気バス 『イケバス』1号車が完成!

「アッ!かわい〜」

今年11月から池袋を走る「真っ赤な電気バス・イケバス」。各界から注目の水戸岡鋭治氏によるトータルデザインで、「としま新時代」を表す環境と観光のシンボルになる。

その1号車が完成した、との連絡を受けて、5月10日(金) 高野之夫区長と水戸岡鋭治氏に同行し、溝口禎三会長(当会)ほか事務局2名が群馬県桐生市にある株式会社ウギャザーの製作現場を訪ねた。



車両前面 目はパッチリと頭にはフクロウ イケブクロ・レッド



車両の内部 天井にはモニターパネルが付いているここにテーブル付いたらディナーができますね、と盛り上がる

一目見た瞬間、全員が「アッ!かわい〜」とハモるほど、すぐ親しみを感じる正面の愛らしい顔、ライトはまつ毛の長いこどもの眼のようで微笑ましい。さらに車両の赤色は我々の予想以上に高級感のある上品で見とれるほどの仕上がりだ。「ロンドン・レッドに肩を並べるような、池袋・レッドになりますよ」と言う水戸岡氏のオリジナル色を使用している。

車内の装飾は寄木細工模様を施した床やカラフルな座席デザインなど、見るほどに時間を忘れて惹きこまれ、まるで「レストランの特別室」のようだと言が上がる。「それではオプションでテーブルも付けましょう」と水戸岡氏、今後製作する車両は1台ごとに内装デザインを少し変える予定もあり、また1台だけ特別の「黄色いバス」(ハッピーイエロー号)も計画されているとのことだ。

**豊島区民5000名にお披露目  
イケバス前は写真撮影で大盛況**

5月24日にはハレザ池袋の豊島区立芸術文化劇場(東京建物 Brillia HALL) 竣工内覧会の会場前にイケバスが登場。完成したホールを見に来ていただいた豊島区民を含む5000名以上の来訪者にイケバス1号車の実物がお披露目された。初めて見るデザイン車両に驚きと感嘆の表情をする人々が車両を囲み、記念撮影は大盛況、走行ルートや開業時期についての質問も相次いだ。

今年11月から走行開始する「イケバス」は乗合バスと貸切バスの2タイプとなる。乗合バスはWILLER(株)が決められたルートを定時で運営する。ハレザ池袋を中心に4つの公園や区役所など池袋東口巡回コースと池袋西口と東口を結ぶ巡回コースが予定されている。

また、貸切バスは(一社)とし、また、貸切バスは(一社)とし、また、今年11月イケバスはスタートする。

**アイデア次第で  
楽しいアトラクションに変化する**

当会、池袋の路面電車とまちづくりの会がこれまで提案してきた「まちづくり×交通乗り物」の初陣がいよいよ始まる。蓄電池で走るイケバスは最高時速19キロ、座席は14席(+立乗7人)。としま新時代の魅力を発信するアトラクションとして何ができるか。WILLER(株)と(一社)とし、また、今年11月イケバスはスタートする。



Hareza 池袋の豊島区立芸術文化劇場(東京建物 Brillia HALL) 竣工内覧会 会場前でお披露目 タイヤ5輪はそれぞれ動く

# 世界のオモシロ鉄道いろいろ

株式会社エリエイ代表取締役 平井憲太郎氏

平成30年11月9日 午後7時

於：あうるすぽっとB会議室

平成30年11月9日、講演会「世界のオモシロ鉄道いろいろ」を開催しました。

講演は池袋に生まれ育ち、1974年2月より現在に至るまで、鉄道模型月刊誌「とれいん」を刊行している、当会会員でもある平井憲太郎氏。平井氏より、立教高校鉄道研究会以来、現在に至るまで撮影した国内外のさまざまな・オモシロイと感じる鉄道車両・機関車などをわかりやすく、楽しく紹介いただきました。その時の写真の数々をご覧ください。

講演後、高野之夫豊島区長・溝口禎三当会会長との鼎談が行われ、「池袋のLRT・トランジットモールにも期待しています」とのエールもいただきました。

私の本格的な  
鉄道写真撮影は、  
ここから  
始まりました。



羽幌線 高一の時 極寒のなか撮影



旧秋田県遊佐町にて 「特急いなほ」取材の時



新宿にて アルプス夜行の「暖房車」に添乗取材



台湾 阿里山の森林鉄道に乗って撮影



台湾 基隆（キールン）の炭鉱運搬列車



ロサンゼルス 機関車の馬力・コンテナのサイズとも半端ない



アメリカの鉄道会社では機関車を共同運用しています

ここで「ゲージ (線路幅) のはなし」を少し

日本では…

- 1067mm = 3'6" これが標準
- 1372mm = 4'6" いわゆる馬車軌道ゲージ
- 1435mm = 4'8½" 世界標準・新幹線
- 762mm = 2'6" 軽便鉄道
- 914mm = 3' おそらく日本では西大寺鉄道だけ
- 610mm = 2' 軍用軌道に多かった

外国では

- 1676mm = 5'½" インド
- 1668mm = 5'5½" イベリアゲージ
- 1600mm = 5'3" オーストラリア/ビクトリア州
- 1524mm = 5'
- 1520mm ≙ 5' ロシアゲージ
- 1000mm 東南アジア。スイスにも
- 760mm、750mm 2'6" をメートル法で丸めたもの
- まだまだ、他にもあります

世界には、これほど多くのゲージが！

池袋にはどんな路面電車が走るのでしょうか？



冬景色とマッチした中国内モンゴル自治区のSL重連



ポルトガル リスボン市電 急こう配をぐんぐん上る！



スペイン サラゴサ 架線がないのでスッキリ！



フランス ディジョン これは、池袋に似合うのでは？



平井 憲太郎 (ひらい・けんたろう) 氏

1950年豊島区生まれ。幼時から鉄道、鉄道模型を趣味とし、立教高校在学中の「鉄道ジャーナル」誌の編集アルバイトをきっかけに鉄道趣味書出版の世界に入り、1968年友人と共に写真集「煙」を出版。  
立教大学卒業後、プロフィール1974年に株式会社エリエイより鉄道模型月刊誌「とれいん」を発刊、現在に至る。ほかにも役職多数。

# 宇都宮市副市長表敬訪問と 宇都宮ライトレール見学記

## 「新設LRT」の建設現場を見学

宇都宮ライトレールは、大半の区間が既存の鉄道線だった富山ライトレールに引き続き、日本初の全線新設のLRT（ライトレール・トランジット）として全国の関係者の注目と期待を集めています。優先整備区間のJR宇都宮駅東口～本田技研北門の約15kmが2022年3月に開業予定で、着々と工事が進捗しています。



吉田宇都宮市副市長表敬訪問

当会では、2019年3月11日(月)

に溝口会長、阿部、加藤、藤村、宮川、佐々(本記事を執筆)の6名にて現地を見学しました。当会の活動が15年に及ぶ中、池袋も東口の再開発がまさに急ピッチで進行しており、長年に渡り基幹交通インフラとしてのLRTの整備構想がありながら実現に至らず、先輩となる宇都宮を見学することでピン

トを得るのが主な目的です。

開業予定の全ルートを実地に見て回るとともに、整備主体である宇都宮市(一部区間は芳賀町だが今回はお邪魔せず)と営業主体である宇都宮ライトレール株式会社へお邪魔してお話を伺いました。

当日は、JR宇都宮駅西口(旧来からの市街地側)から市内循環バス「さぶな」に乗車し、まずは東武宇都宮駅至近の宇都宮ライトレールを訪問しました。経営企画部の馬嶋課長と上野係長がご対応下さり、計画の経緯や事業の概要について貴重なお話を伺いました。お2人とも宇都宮市から出向して

おり、2015年の会社設立時から宇都宮ライトレールの開業に向けた準備を進めています。

## 宇都宮市のLRT

宇都宮市は人口52万人で、東部の清原地区から隣接の芳賀町にかけて大規模な工業団地があり、朝夕は通勤のマイカーで深刻な渋滞が発生します。市では「ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくりを推進しており、その要となる東西方向の基幹公共交通としてLRTを整備することとなり、既に多数のバス路線がある西

# Light Rail Transit 車両図鑑

### パンタグラフ

- ・架線から電力を取り入れるための装置
- ・電気モーターで駆動するため環境に優しい



### 貫通幌

- ・連結した車両の間を覆う部分で乗客の転落防止と風雨を防ぐために設置

### 窓

- ・外の景色を楽しめるよう大きな窓を採用

### 運賃

150円～  
400円

### 運転時間帯

6時台～  
23時台

### 運行間隔(1時間あたり)

ピーク時 6分間隔	オフピーク時 10分間隔
--------------	-----------------

(2018年11月時点/詳細は国の認可等を経て決定)

側より、日々の渋滞が深刻な東側の整備が優先されることとなりました。西側へは、J-Rの在来線と新幹線の間を抜けて延伸する計画の検討が進んでいます。

開業予定ルートの見学では、地元で活動されている滝野光太郎さんにお世話になりました。最初にJ-R宇都宮駅東口の起点となる地点を見学した後、道路上の中央に軌道が敷設される鬼怒通りを東進し、清原工業団地を経て、終点となる本田技研北門へ。芳賀・高根沢工業団地の一角を担うホンダは2.2万人が就業しており、敷地面積も膨大です。ここに勤める人達の大半は、送迎バスまたはマイカーで通勤しており、送迎バスの人たちは全員が、マイカーの人たちもできるだけ多くがLRTを利用するようにすることが期待されます。

その後、工事の最難関と言われる鬼怒川橋梁の建設現場をちょうど見下ろせる飛山城址跡公園へ。しばらく散策した後、路線の中枢となる平出町へ。ここにはトランジットセンターが作られ、駐車場やバス停が整備されます。

電停南側には、まさに土台が敷設された最初の車両基地が建設されます。LRTは3両連接で全長29.5m、乗車定員160名の黄色いスタイリッシュな車両となり、17編成が導入される計画で、全編成がここに収納されるそうです。

そのため、LRTの車庫としてはかなり規模が大きいものとなります。

**LRTのPRスクエア・副市長の情熱**

それから、宇都宮大学とも隣接し、平日昼でも多数の人が訪れているショッピングセンター「ベルモール」へ。中に「交通未来都市うつのみやオープンスクエア」があり、LRT事業の内容が分かりやすく展示され、宇都宮市から委託された案内スタッフも常駐しています。

引続き、宇都宮市を訪問し、本事業の実務のトップである吉田副市長にお話を伺いました。旧建設省のご出身で、国交省・自治体・J-R等の様々な要職を歴任の後、2016年4月より宇都宮市の副市長を務めています。非常に気さくな方で、ご多忙にもかかわらず1時間半に渡り貴重な情報交換をさせていただきました。このリーダーシップがあればLRT事業は成功すると感じました。

Lig  
**LRT**



**架線**  
・動力源になる電気が流れている

**運転席**  
・ワンマン運転を予定  
・運転最高速度は時速40km

**ノーズ**  
・LRTの「L字型」をモチーフにした色使い、流れるような先頭のかたちが特徴

**レール**  
・軌道と呼ばれるレールの上を走る

**乗降**  
・全ての

専用空間を走行するため **時間に正確!**

車両は騒音や振動が少なく **快適な乗り**

洗練されたデザインは **まちのシンボルに!**

乗り換え施設等の整備で他の交通機関と **スムーズに**

**主な停留場までの時間と運賃**



大塚駅南口、半世紀の変化



昭和44年6月15日の大塚駅南口。駅前にオート三輪が乗り付け、歩行者と自動車交通、路面電車が混交したスペースになっているのが目を引く。画面左奥には、近年解体された旧白木屋デパートビルが見える。

1969



上の写真からほぼ50年後、令和元年5月の大塚駅南口の様子。南北自由通路と駅前広場が開かれて人々が賑やかに行き交い、都電の線路沿いには美しいバラの花が咲き誇るなど、大塚駅周辺は大きく変貌した。

2019

## Voice ▶▶▶▶▶▶

日本女子大学家政学部教授

薬袋 奈美子 (みない なみこ) さん

## 譲り合いの町チューリッヒ

スイスのチューリッヒを訪れる機会に恵まれた。まるで乗り物博物館のようにバス、トロリーバス、路面電車、ケーブルカー、そしてボートが町を行き交う。何より驚いたのは、文字通りシェアードスペースが実現していることだ。路面電車が走る前後を人が気軽に横断している。路面電車の運転への信頼の証であると同時に、歩行者のために車も路面電車も速度を落とす。歩道に向かって座席の用意された店も見かけた。歩道も車道も互いに譲り合って道空間を使う文化が根付いているように見えた。道は、ゆったりと生活するための公共空間となっている。路面電車はそんな都市の要の乗り物。路面電車の導入とともに、日本でもルールや事業で縛るのではない、譲り合いの文化を考えてみたい。



大塚駅周辺を考える会 事務局

城所 信英 (きどころ のぶひで) さん

## トラムが友達～トランパル大塚から

わがまち大塚を縦走する都電、東京さくらトラムは専用軌道線ですから路面電車とは言えないのですが、大塚駅前界限ではその電車風景は、ヨーロッパの都市の広場を走り抜けていく路面電車の趣きにもちょっと似て、庶民的な街の魅力をいっそう高めています。



とくに「トランパル大塚」とその名もトラムを冠する自動車を締め出した南口駅前広場の完成以降、色とりどりの電車が行きかうのを本当に間近に見たり感じたりしながら、人々が憩い、集い、時にイベントで音楽や飲食をも楽しむ風景が日常化してきました。

また広場から向原電停までの軌道沿線には千株七百種以上のバラが春秋に咲き誇ります。

都電という地域資産を街の人々が大切に活かしてきた結果、もともと魅力的な個店の多い大塚は、トラムとバラと広場に象徴される「人にやさしい街」となっているのです。



## 大塚駅前と私

株式会社 藤久不動産 代表取締役  
後藤文男

大塚は私が幼稚園児だった頃、駅前にあった鍼灸治療院通いの祖母に連れられて何度か行った記憶が、かすかに残っています。

その治療院は金原先生といい、当時、日本テレビで第一線で活躍していた金原アナウンサーの実家だと言っていました。

近くにおもちゃ屋があり、帰りに何か買ってもらえるのを楽しみに、祖母の治療が終わるのをおとなしく待つていました。

その頃から電車が好きでしたので、買ってもらうものは電車ごっこセット(切符切りのはさみ、切符とおもちゃのお金が紙製の車掌靴に入っているもの)やブリキのおもちゃの電車でした。

乗った電車は茶色い山手線で、駅前を走っていた都電には乗りませんでしたので記憶がありません。

その後、しばらく間をおいて小学校5、6年の時、昔の

白木屋デパートのビルにあった四谷大塚進学教室に通っていました。

古びた汚いビルの印象が強く脳裏に焼き付いています。そのビルがつい最近まで残っていたとは驚きです。

大塚の都電の存在に気が付いたのは高校の時、クラブの先輩に連れられて当時の32系統(現在の荒川線)を鬼子母神前から大塚駅前まで歩いて写真を撮ったときでした。

まだ大塚駅前南口が区画整理前で都電の線路沿いに建物があり、その中に「芸術調髪」というすごい名前の床屋があったのをいまだに覚えています。

大塚駅前も区画整理が終わり、都電の線路の両側に道路ができ、大分様相が変わってしまいました。

民家の軒先をかすめて走っていた都電が懐かしく思い起こされます。

◆写真…後藤文男(右頁上)、藤村建一郎(右頁下)

# INFORMATION

## 活動報告

平成30年(2018年)11月～

### 2018年

11月1日

- 会報「iとらむ」第13号発行

11月9日

- 第16回総会(あうるすぽっと)講演会【本誌6～7P】  
「世界のオモシロ鉄道いろいろ」  
株式会社エリエイ代表取締役 平井憲太郎氏(当会会員)

11月17日

- 都市交通フォーラム@堺(主催:NPO法人RACDA大阪・堺)  
(当会会員が参加)



平井憲太郎氏 講演会



宇都宮ライトレール訪問

### 2019年

3月9日～10日

- 第9回「人と環境に優しい交通をめざす全国大会」in前橋  
(当会会員が参加・発表)

3月11日

- 宇都宮LRT着工現場見学等【本誌8～9P】  
宇都宮ライトレール株式会社訪問  
LRT新設工事現場各地見学・PR施設訪問  
宇都宮市役所 吉田副市長表敬訪問

令和元年5月10日

- イケバス第1号車試乗(群馬県桐生市)  
(高野之夫豊島区長・水戸岡鋭治氏ご参加)

5月11日

- チン電会ラッピング電車お名残乗車(主催:NPO法人RACDA大阪・堺)  
(当会会員が参加)



イケバス第1号車試乗

## 入会のご案内

### 入会方法・年会費

#### 会員募集

1. 個人会員(個人的にご入会の場合) 年会費3,000円
2. 法人・団体会員(会社・学校・病院・町会・商店会・任意団体などでご入会の場合) 年会費10,000円  
また別途、賛助会員もお受けしております。年会費 一口10,000円(一口以上からお受けしております。)

#### お問い合わせ

公益財団法人としま未来文化財団みらい文化課まちの魅力づくりセクション

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-34-5 藤和第2ビル2階 担当:高橋 TEL:03-3590-7581

「池袋の路面電車とまちづくりの会」事務局 TEL:03-3983-2483

e-mail:ikebukuro.lrt@gmail.com ホームページもご覧下さい <https://i-tram.tokyo/>

先日、当会有志にて宇都宮を訪問した。「国内初のLRT新設工事線」の見学のため運営会社の宇都宮ライトレール(株)本社を訪問。説明を受けたのち、主な工事現場を見せていただいた▼注目したのは鬼怒川の橋梁工事。河川に鉄道専用線を架けることは、法令上の縛りが多いが、行政と運営会社との連携により円滑に乗り越えた▼道路に並行した専用軌道にせよ、車両基地にせよ、用地がふんだんにあり羨ましいかぎり▼ショッピングモール内のPRセンターではゴーグルを顔につけて、VRによるLRT乗車の疑似体験。そして宇都宮市副市長を表敬訪問。LRTの新規開通によるまちの将来性を熱く語られた▼5年前、当会の講演会にて藤井聡教授曰く「鉄道の駅ができる」と地図が変わる、そして不動産価値も上がる」と。確かに宇都宮市の当該沿線一部の地価は既に上昇傾向にある。2022年の開業に伴い、このまちのあらたなる発展を心より願う▼そのLRT車体の色は、雷都(らいと)と呼ばれる宇都宮にちなんだ稲妻ゴールド▼さすれば、われらが池袋LRT回遊線は?白の車体に「東アジア文化都市2019豊島」のシンボルマーク「七色リボン」をあしらってみるのはいかが。(貴)

## 編集後記